

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O

2015

6

June

特集

「第66回新潟県公民館大会 7月17日 聖籠町を会場に」

聖籠町公民館 館長 渡辺佳津志

4.5

2 トピックス 第1回理事会・評議員会開催

3 視点 「これからの公民館職員に求められる役割」 県教育庁中越教育事務所社会教育課副参事 佐藤 克己

3 ひろば 「専任制から提言へ」～社会教育委員を動かすもの～ 前新発田市社会教育委員の会議委員長 皆木 邦夫

6 実践記録シリーズ 「自然・ふれあい！家族のつどい」～自然体験活動、そして、人との絆～

新潟県少年自然の家 指導課副参事 三膳 章

7 サークル交流 「人形劇で子供たちと交流」(佐渡市)／「心もひとつに」(聖籠町)

7 素顔拝見 金塚ひろみさん(長岡市)／榎本 富夫さん(胎内市)

8 お元気ですか 「元気です」十日町市・水落 満長さん

8 インフォメーション ネットワーク



俳句甲子園出張講座in新潟(小千谷市)

表紙解説

高校生に俳句の魅力を体験してもらおうと愛媛県松山市と共催。俳人の神野紗希さんが講師を務めました。

第1回理事会・評議員会開催

5月20日(木)新潟市中央公民館で第1回理事会・評議員会が開催されました。

例年のおり、理事会に引き続き行われた評議員会では県生涯学習推進課長様からご挨拶がありました。

中央…坪川 充 課長
左…中川日里 副参事
(県公民館担当)
右…佐藤 実 県公連会長



評議員会に先立って行われた理事会では、女性として初理事になった魚沼市中央公民館長・大塚和子氏が挨拶を行いました。



それぞれの会議では、役員承認、事業計画等が審議され原案どおり承認されました。主な承認事項は次のとおりです。

1 役員承認

今年度が役員任期の2年目(来年度改選)にあたるため、転任者の後任者が役員として承認されました。新役員を代表して、副会長に就任した新潟市中央公民館長・五十嵐政人氏が挨拶を行いました。

2 県大会要項審議

県大会の詳細な計画が審議

され承認されました。大会テーマが「地域連携」であることや大会参加費・資料代が500円値下げされることが特徴です。

また、聖籠町、村上市、胎内市、阿賀町の各地域から特産品を持ち寄り物産販売を行います。



3 会則・諸規定・内規集の発行

最新版を発行し、全市町村に配布しました。

4 公民館名鑑の公開

全市町村の住所や電話番号

等が記載されている「公民館名鑑」は、従来の冊子印刷を廃止してホームページに掲載します。

5 公民館月報「実践シリーズ」の事例集

事例集は冊子発行をせず、ホームページに掲載します。

6 来年度の県大会

来年度の県大会は上越地区が担当します。開催地は妙高市、会場は新井文化会館を予定しています。

7 その他

(1) 市町村負担金

負担金は平成28年まで変更ありません。平成29年から人口に応じて負担金額が決まります。

(2) 月報の原稿執筆謝礼

市町村職員には謝礼をしないことになっています。

次回、理事会は6月11日(木) 評議員会は来年度2月19日(金)です。

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

視点

「これからの公民館職員に求められる役割」

県教育庁中越教育事務所
社会教育課 副参事

佐藤 克己



平成二十五年一月に中央教育審議会生涯学習分科会から出された「議論の整理」の中では、「公民館等の社会教育施設が中心となり、学習活動を地域の課題解決につなげていくような取組を支援し、普及していくなど、「学びの場」を核とした地域コミュニティの形成を進めることが期待される。」と記されています。

『教育委員会月報』平成二十七年四月号では、特集「今年度の重要施策と課題」の中で、「個人や地域が抱える課題は多様化・複雑化しており、専門家・機関等とも協働しつつ住民が主体的に地域の課題の解決を図っていくことが求められる中、地域の学びの拠点である公民館や図書館、博物館等の社会教育施設やその関係職員の質の向上の重要性が増しています。」と述べられています。これらの文章で述べられているように、「地域コミュニティの形成」

「地域の課題解決」を推進するために、公民館、そして公民館職員の果たす役割は今後ますます大きくなっていくと思われまふ。

これからの公民館職員に求められる役割は、職員自らが中心となる、いわゆる「自前主義」ではないはずだ。牧野篤氏（東京大学大学院教授）が述べているように、「これまでの公民館主事のあり方をベースにして、さらに地域住民のネットワークを広げて、そのネットワークのなかに「学び」を組織して、人々の地域への願いや思いを強化しながら、地域貢献を促していく、いわば地域のコーディネート者である黒子」（『月刊公民館』平成二十七年四月号）となっていくことが求められるのではないだろうか。

そのためには、地域人材のネットワークを構築するコーディネートとしての資質・能力の向上が欠かせないのだ。

H O T N E W S

掲 示 板

第1回公民館月報編集委員会



昨年の編集委員会の様子

第1回公民館月報編集委員会を次のとおり開催します。

期日：平成27年6月26日(金) 午後1時30分～

会場：新潟市中央公民館404講座室

内容：平成27年度後期編集について

平成27年度編集委員

編集長 田原 理 (県公連事務局長)
委 員 小林 朋広

(県生涯学習推進センター)

大坪 美樹 (上越市立公民館)

長谷川健康 (三条市中央公民館)

佐藤 了 (出雲崎町中央公民館)

渡辺佳津志 (聖籠町公民館)

船山 靖子 (新潟市中央公民館)

吉田英津子 (白根地区公民館)

「専任制から提言へ」 社会教育委員を動かすもの

前新発田市社会教育委員の会議委員長 皆木 邦夫

時間一杯使った会議を終えた後、「社会教育委員としてこれで良いのだろうか？」といったモヤモヤ感を持ったことはないでしょうか。兼務公民館運営審議会委員と合わせて二十名の委員数に加え、説明事項が多かったことが理由と考えられます。

それが、委員十名の専任制となり、「生きる力」を育む方策」の提言を求められることになりました。

「受け身」から「発信」への大転換を、年三回の会議で実現する責任を負うことになったわけです。

会議では「ふるさと新発田」を生かすことを確認し、①定期会議に加え、自主会議や先進地視察、資料収集(国社研・市)の実施②子育て世代の若手職員と合同のW・S開催



③「目指す子ども像」を基に三部会制で追及等に取り組みました。

そして、「体験」をキーワードに提言書は完成。難産ではありましたが、委員の使命感と、事務局の真摯な対応で乗り越えた成果です。

正直なところ、「発信」は苦勞続きでしたが、達成感是十分に満たされました。社会教育委員の在り方を考えさせられた良い機会であったと思います。

会場に～地域連携で進める公民館活動～

ビレックスチアリーダーズが息の合った絶妙なダンスで会場を盛り上げてくれます。間近に観る迫力ある演技をお楽しみください。



アルビレックス新潟トップチーム

- | | |
|-------|--|
| 10:00 | 受付 |
| 10:30 | 開会式
公民館永年勤続者表彰式 |
| 11:00 | 記念講演
テーマ：地域貢献活動における聖籠町との連携
講師：アルビレックス新潟強化育成本部
育成普及部 部長 岡田朝彦氏
アトラクション：アルビレックスチアリーダーズによる演技 |
| 13:00 | 上越地区一事例
中越地区一事例
新潟市一事例
(発表者調整中) |
| 15:00 | 閉会式 |

下越の魅力を物販に

第66回大会は、聖籠町と胎内市が共催として準備から大会当日の運営まで任されていますが、下越地区が会場地ということで、下越地区全市町村が大会を盛り上げるために協力しています。物産販売コーナーも各市町村の魅力溢れる特産品を用意しています。聖籠町コーナーでは、特産の果樹は時季外れとなりますが、新鮮タマゴと聖籠産ぶ



アルビレックスチアリーダーズ

どうを使用したふわふわしっとりの「ぶどうカステラ」、横須賀カレーフェスティバル2015に出品し、400個を完売した米粉カレーを使った「ライスコロケ（カレーチーズ味）」等。胎内市は、欧州系品種にこだわり、自園産ぶどう100%を使用した「胎内高原ワイン」。村上市は素材にこだわり、紫蘇、糖蜜、抹茶の三種の味を取り揃えた、お土産に大好評の「瀬波温泉まんじゅう」。阿賀町からは障がい者福祉施設たんぼぼで手作りされている「和紙しおり」などの各種工芸品などをご用意する予定です。その他にも下越地区から多くの物産が販売される予定です。

大会参加費を軽減 皆さんの来館お待ちしております

今大会では、県公連の事業経費を節減し、多くの皆さんが大会に足を運んでいただけるよう大会参加費を昨年の1,500円から1,000円に軽減しています。

また、今回は特に記念講演、アトラクション、物産販売等で地域色を意識しています。下越地区のまとまりや企業との連携についても勿論です。そのへんも併せてご覧になっていただければと思っています。

7月17日まで残すところ一ヶ月、準備は着々と進んでいます。当日は、遠方からお越しの皆さんにも、来て良かったと思えるような大会に努めて参りたいと思っています。皆さんのお越しを心より楽しみにしています。

特集

第66回新潟県公民館大会

7月17日 聖籠町を



聖籠町公民館
館長 渡辺佳津志

第66回新潟県公民館大会が7月17日(金)、聖籠町町民会館を会場に開催されます。大会日まで残すところ一ヶ月。下越地区の公民館関係職員が大会の成功に向けて協力しながら準備を進めています。



会場 聖籠町町民会館

今大会のテーマは、「地域連携で進める公民館活動 ～多様な主体の連携・協働を進める取組～」です。このテーマは、公民館を運営する私たち職員にとって喫緊の課題であり、この取り組みは増大・多様化する住民の学習ニーズに応えられる有効な手段だと考えます。

このような状況下、聖籠町においても他の企業や団体等との連携を模索しながら取組みを進めています。特に町がホームタウンとなっているJ1「アルビレックス新潟」や、日本で唯一のサッカー総合専修学校「JAPANサッカーカレッジ」などスポーツ資源との連携・協働は着実に実績を重ね、地域コミュニティへの活性化においてもその効果が波及しています。

アルビレックス新潟との連携を軸に

今大会の記念講演は、大会テーマに沿う形で地域貢献活動における聖籠町との連携をテーマにしています。講師は、同社の強化育成本部 育成普及部 部長の岡田朝彦さん。岡田さんは、山形県出身で企業の少年サッカーチーム「長岡ビルボード」の設立や、フットサルの日本代表選手を育成

するなどフットサルの普及と技術力向上に貢献された方です。それら功績が認められ1995年にアルビレックス新潟（当時：アルビレオ新潟）に入社。その後も新潟から世界に羽ばたく選手の育成を目指して活躍しています。岡田さんの講演は、聖籠町とアルビレックス新潟が連携して取り組んできた実践と効果、課題など、今後の公民館活動において、必ずや大きなヒントになると思います。

また、講演後のアトラクションもアル



四季の聖籠

実践記録

207

シリーズ

『自然・ふれあい！家族のつどい』～自然体験活動、そして、人との絆～

新潟県少年自然の家 指導課副参事 三膳 章

◎はじめに

新潟県少年自然の家では、「自然・ふれあい！家族のつどい」（主催事業）を年3回開催しています。

「季節に応じた自然体験活動や創作活動を通じて、家族で協力し合いふれあうことで、絆をより一層深める。そして、他の家族との交流を図りながら、豊かな情操や社会性を育てる。」ことをねらいとして活動しています。

◎第1回「自然・ふれあい！家族のつどい」の概要

4月、県内各地から23家族72人の皆様から参加いただき、「もちつき・クラフト&いちご狩り」をサブテーマに1泊2日で開催しました。主な内容は次のとおりです。

○もちつき

2つの臼を囲み、「よいしょ！よいしょ！」という元気なかけ声の中、協力してもちをつきました。

全員でついたもちを、あんこもち・きなこもち・雑煮にして夕食時に食べました。参加者からは「初めての経験でした。子どもたちも楽しそうでした。」「かけ声をかけてついたら楽しかった。3種類とも、とてもおいしかった。」という声が聞かれました。

○クラフト

自然の素材を活かした「写真立て」を作りました。所内の遊歩道などを歩き、木の枝や葉っぱなどを採り、家族で気持ちと力を合わせて作りました。

参加者からは「子どもが楽しみながら、自分の力で作ることができました。」「手作りのオリジナル作品ができて嬉しいです。」という声が聞かれました。



クラフト〔写真立てづくり〕

◎いちご狩り

地域でいちご栽培をしている農園の協力を得て、いちご狩りをしました。また、乙まんじゅうを食べ、乙宝寺周辺を散策しました。天気にも恵まれ、暖かい日差しの中で、春の風を感じることができました。参加者からは「子どもがホッペをふくらませて幸せそうにいちごを食べていました。」「歩いていてウキウキしました。」という声が聞かれました。



◎今後の予定

季節に応じたプログラム、そして、地域の特色を活かしたプログラムを提供し、多くの家族に楽しんでもらえる事業としていきます。

	第2回	第3回
期 日	9月5日(土) ～6日(日)	12月5日(土) ～6日(日)
会 場	新潟県少年自然の家	新潟県少年自然の家
募集期間	7月31日(金) ～8月19日(水)	10月30日(金) ～11月13日(金)
主な活動	カヌー、アウトドアクッキングなど	クリスマスパーティーなど

◎おわりに

参加者から「他の家族と所員の方々から優しくしていただき、小さな孫連れ参加という最初の心配も忘れて、楽しむことができました。」という言葉いただきました。参加者と自然の家が一緒に作り上げる事業となっています。

また、当事業の他に「はつらつ体験塾」「チャレンジわんぱく」「カヌーに親しもう」などの主催事業を行っています。各事業への参加を促していただくとともに、各公民館の事業でも自然の家を御利用いただければ幸いです。

「人形劇で 子供たちと交流」

パペットシアター・キッチン

平成2年に町の婦人学級からスタートした活動で子供たちに生の人形劇を見せてあげたい。年に一つの作品を作りたい。島内の保育所・小学校・図書館で公演させていたたいです。昔話、落語、絵本などから台本を作ります。台本に合わせて人形から小道具まで手作り。全て準備が出来た所で立ち稽古を2か月ほど重ねて本番を迎えます。

子供達は今年はどうなお話に会えるのか目と耳が舞台上に集中し、人形の動きやセリフ、



背景まで見落とさないぞと五感をフル回転。想像力を膨らませて物を見る大切さを子供達から教えてもらっている楽しい時間です。

人形劇の仲間7名、今年も新しいお話を選択中です。

佐渡市小木・パペット・シアター・キッチン
大井キヨ子 記



心もわんわん

みんなで歌おう会コーラス講座

「今日は何を歌うんだろっかね」月に一度の土曜午前10時、コーラス好きのみなさんが意気揚々と公民館小ホールに集まってきました。

聖籠町公民館事業の一環として始まった『みんなで歌

う会コーラス講座』は今年で2年目になります。この講座は平成21年度文化庁支援事業の補助金を活用し、オーケストラの演奏に合わせて歌声を披露した『500人コーラス』がきっかけとなっていました。現在にいたるまで公民館にはみなさんの歌声が脈々と響き続けています。

この講座では明治、大正、昭和そして平成の時代を彩る名曲を題材に、当時の時代背景や作者の心情等を講師の先生方から学び、より一層曲に対する理解を深めつつ、参加者同士の連携を強めていくことを目標にしています。



聖籠町・みんなで歌おう会
事務局 吉田 晃一 記

4月のまだ少し寒い季節、公民館に新しい風がやってきました。新たに中央公民館の職員になった金塚ひろみさんです。金塚さんはいつでも冷静沈着。お客さま対応もそつなくこなすとても頼りがいのある人物です。大学卒業からすぐに公民館に配属、若々しくおだやかな金塚さんは公民館をいつも温かな雰囲気にしてくれます。

そんな金塚さんは、大学在

長岡市中央公民館
金塚ひろみさん



学中になんとアメリカに留学していたという経歴の持ち主。これからのグローバルの時代、その国際感覚と得意な語学力を活かし、新たな公民館を作り上げてくれることでしょう。これからの金塚さんの活躍に期待しています！

(長岡市中央公民館 長谷川元美 記)

5年目に突入した社会教育係の榎本参事を紹介します。10名の係員を率いて日々仕事に励んでいます。係員からの信頼も厚く、とても頼れる上司です。社会教育委員・公運審会議では大半の説明を引き受けてくれます。細やかな心配りができ、係員の円滑な業務の遂行に尽力しています。手先が器用で、施設用品等の修繕の際にはアイデアを出して自ら率先して修繕してしまいま

胎内市教育委員会 生涯学習課 社会教育係
参事 榎本 富夫さん



す。スポーツマンの一面もあり、スキーは指導員の資格を持ち冬は胎内スキー場で指導をしています。最近はひざの調子もよくなり、ソフトバレーの練習にも力が入っているようです。これからの胎内市の社会教育・生涯学習分野を牽引していくことと確信しています。

(胎内市生涯学習課 社会教育係 森 敬史 記)

素顔拝見

Net work

ネットワーク

中越地区公連理事会、代議員会

中越地区公連の第1回理事会、代議員会が5月8日(金)に長岡市まちなかキャンパスを会場に開催されました。

- 1 昨年度事業、決算報告
- 2 今年度事業計画、予算審議
例年どおり研究大会、職員研修会、館長等研修会を開催
- 3 講話
佐藤 了 (出雲崎町中央公民館長)



理事会、
代議員会



講話：
佐藤館長

お元気ですか

「元気です」 水落 満長 (十日町市)



昨年3月、公民館で定年退職後、専業農家として山間地農業にいそしんでいます。山間地ゆえに条件が悪く、経済的にはなかなか立ち行きません。しかし中山間地農業は、単に農産物の生産にとどまらず、里山の保全をとおり、国土保全、環境保全などの大きな公益性を果たしており、そもそも現代の市場経済にはそぐわない、それらを超越した崇高な営みなのかもしれません。

さて今年は戦後70年の節目の年で、国民が改めて不戦を誓う年となります。ところが最近の日本を見ていると、何か不穏な動きを感じるの、私だけでしょうか。戦後の社会教育が民主主義と平和主義を掲げて国民の民度の向上を目指してきたはずなのに、国民のあまりにも従順なこと。「いつか来た道」を辿ることがないよう、一市民として何ができるか考えながら、余生を過ごしていきたいと考えています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

information

自主財源委員会

当会では財政の健全運営を図るため「自主財源確立のための調査検討委員会」を設けています。これは、財政の運用に問題が起きたときにその問題を検討する会議です。

7名以内の委員で構成され、任期は2年です。今年度委員が改選されました。委員名簿は次のとおりです。

委員長	五十嵐 政 人	(新潟市中央公民館長)
委員	寺 瀬 千 恵	(新潟県婦人連盟事務局長)
〃	伴 内 美 和	(見附市中央公民館長)
〃	見 原 健 司	(阿賀野市中央公民館長)
〃	佐々木 繁 雄	(糸魚川市中央公民館長)
〃	古 澤 徹	(燕市中央公民館長)
〃	田 原 理	(県公連事務局長)

* 任期：平成27年度～28年度

河 川 愛 護 月 間

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。本会でも、良好な河川環境の保全・再生のため、地域住民の河川愛護意識の醸成に協力しています。

新潟県河川協会

会長(加茂市長) 小 池 清 彦

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事 務局長のつばき
俳優です。
先日NHKで、ブロードウェイミュージカル公演「王様と私」で主演する渡辺さん特集していました。舞台でのセリフや歌をすべて英語で行う努力に感服しました。10年ほど前に「明日の記憶」という映画で、若年性アルツハイマー病

なった男を好演し主演男優賞を受賞しました。渡辺さんは旧広神村出身、妻役が加茂市出身の樋口可南子さん。二人の新潟県人が活躍して誇らしい気分です。
この映画を私たち夫婦で見に行きました。あれ以来、10年間、妻は「憶けないようにしようね」の連発。私は「映画は夫婦の絆がテーマだよ」と言いたいのですが。(田原)